

令和6年度

上向台小学校

地域とともにある学校づくり
4年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 「ごみ調査隊 ～どうしたらごみを減らせるのだろう～」
(活動名)

ねらい： 社会科を中心とした学習を通して、埋め立て処分場には限りがあることを理解するとともに、自分の生活を見直し、ごみを減らすための工夫を考えることができる。ごみを減らす工夫としての削減・再利用・資源化(3R)や、地域の取組を理解するとともに、自ら工夫してごみを削減し、環境を保全しようとする態度を育てる。

【11月】

「公園のごみ拾いをしたい」という声上がり、普段よく遊んでいる田無市民公園に行くことになりました。一見きれいな公園ですが、茂みの中にはたくさんのごみが捨てられており、とても驚いていました。この現状を何とかしたいという思いをもったようです。



【12月～1月】

「ごみのぼい捨てをなくしたい」という思いから、ポスターを作った子どもたち。近隣の施設や商店にポスターを届けにうかがい、自分たちの思いを伝えました。

【1月～2月】

保護者の方や地域の方を招いて、「エコまつり」を開くことになりました。ごみを減らすための工夫、自分たちにできることを様々な面から考えています。



まとめ コラム

社会科の学習をきっかけに、ごみ問題に目を向けました。初めは「ごみを減らす大切さ」について、あまり実感が伴いませんでしたが、校外外で活動したり、地域の方と関わったりすることを通して、自分たちにできることを実践したいという意欲が高まったように感じます。これからも、様々な場面で地域と関わり、地域の一員として、「自分ができることをしていきたい」という思いをもつことができるようにしていきます。